

診療科目：小児科

カテゴリー：選択必修科目、選択科目

【一般目標】

- ・臨床医として小児診療の初歩的基本事項を研修します。
- ・指導医とともに、病棟・外来患者の診療を通して小児患者の診察と基本的臨床手技（採血・点滴・腰椎穿刺など）を研修し、小児を診るための基本的臨床能力を学ぶことを目標とします。

【個別目標】

1. 子供は常に「成長」ということを考える必要があり、小児の正常な身体的および精神的発達を理解し判断する。
2. 「保護者」という第三者を介しての病歴聴取、協力的態度が難しい基本的な診察手技とその評価、検査計画及び EBM に基づいた治療計画を立てることができる。
3. 小児の一次救急の現場を経験し、小児科領域でよくみられる疾患（common disease）についての基本的知識と治療方法を身につける。
4. 乳児健診や予防接種にも積極的に経験してもらう。
5. 分娩立会い、出生時の蘇生や、NICU への搬送・入院処置なども実施してもらい、新生児医療についても理解してもらう。